

選べる性別

中 一

男の人が女の人の格好をしたらダメ。女の人が男の人の格好をしたらダメ。同じ性同士で付き合っただけじゃない。私はそんなことを勝手に思い込んでいました。女の子はピンク色や赤色で男の子は青色や緑色、女の子はバスドライバーになっただけじゃないというイメージが自然にできていました。

小学校の道徳の授業で「ジェンダー」という言葉を知りました。ジェンダーとは男だから、女だからなど社会や文化の中でつくられた性別に対する考え方のことです。現代ではジェンダレスと云った衣類や商品もあります。女子の制服にストラックスが追加されています。スクール水着も改善されました。今では、男だから、女だからなど関係ない時代が変わってきています。

私は自分の好きなように素直な生き方ができる世界になってほしいと考えました。また、そのような生き方を否定したり笑ったりすることがない

世の中にしていききたいと思いました。自分に素直になれる世界になるには偏見をなくしていくことが大切だと思います。

人を好きになるのに決まりはありません。自分も女性でも女性を好きになるのは変なことではない。一方で女の子が好きなのは認めたくない。でも自分の好きを否定されるのは苦しくて嫌なことです。このようにLGBTの人も苦しんでいます。

LGBTとはL(レズビアン)、G(ゲイ)、B(バイセクシャル)、T(トランスジェンダー)、という好きになる人の性別など生まれたときの性別にとらわれない人たちのことをいいます。私はこのような自由に生きる人やその生き方を否定したくないです。そのため世界が早くそのような考え方を受け入れられるようになってほしいと思いました。ジェンダー平等を実現するために様々な取組が行われています。例えば、男女関係なく使えるオールジェンダートイレ、ジェンダレスフアッシュンやジェンダレスメイク、男性のロングヘアや女性のベリーショート、ランドセルの色を自由に選ぶことができるなどです。

人それぞれに生き方があって、決まりやルールはなくて、自分の生き方を否定する必要はない、ということが分かりました。素直な生き方ができて自分の好きを否定されない世界にしていきたいです。もっと性の多様性に悩む人、苦しむ人のことを理解して受け入れていきたいです。人それぞれの価値観と同じように捉えたいです。そして性の多様性にまつわる問題を少しづつなくしていきたいようにしたいと思います。